

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「命の誕生の素晴らしさとかけがえのない命」

富山市立芝園中学校2学年
平成26年9月22日実施

野澤先生は、富山市立倉垣小学校(平成26年11月12日)、富山市立奥田小学校(平成26年10月29日)、富山市立速星小学校(平成27年2月14日)、富山市立山田小学校(平成26年11月18日)においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

野澤 昌子先生

・助産師

【授業の概要】

- 1 命の誕生の神秘と胎児の成長の様子についての講話
- 2 赤ちゃんのお母さんにインタビューしてくる分娩のふしぎ
- 3 赤ちゃんとの触れ合い

(お母さんへ)

私を産んでくれてありがとう。野澤先生のお話から命が誕生するのは大変すごい確率だということを学びました。そんなことも知らなかったのですが、私は怒られたらすぐに反発してしまいました。本当にごめんなさい。

将来、私は母親になれるかどうか分からないけど、母親になったら、産まれてきた子供を大切に育てていきたいです。これからもたくさん迷惑をかけるかもしれないけど、よろしくお願ひします。

(保護者より)

持病をもつ私が、あなたという子供の母になれたことに感謝します。自分以外のものを愛おしく大切にと思わせてくれるようになったのは、親になれたからこそだと思います。いつかあなたにもそんな大切な思いを知ってほしいと願ひます。お母さんは、今とても幸せです。



(保護者より)

お腹にいるときは、つわりがひどくてご飯が食べられなかったり、熱がでてあまり薬が飲めなかったり、赤ちゃんが元気に育つように、バランスのとれた食事を考えたりと産まれてくるまでの10ヶ月間は大変でした。そして、元気に産まれてくれて大きなケガや病気もなく育ってくれて嬉しいです。お母さんの子供に産まれてくれてありがとう。



(お母さんへ)

今日は、命の大切さや助産師について学ぶことができました。

私が一番、感心したのは、赤ちゃんの大きさです。最初の大きさは、砂粒よりも小さいそうです。お母さん、私が砂粒くらいの時から今日まで育ててくれてありがとう。お母さんのおかげで今日までの私がいます。お母さんのおかげで毎日、元気に楽しく過ごせています。

私はもう赤ちゃんではないので、これからはたくさんお母さんの手伝ひをして恩返しするね。これからもずっとよろしくね。私を産んでくれて本当にありがとう。